

医療安全管理室からのお知らせ “北3病棟(内科)”

北3病棟には、おもに呼吸器・糖尿病の患者様が入院されています。

糖尿病の患者様は、インスリン注射と血糖測定を自己管理する必要があります。ひとりぐらしや高齢者世帯の方が多く、自分で準備して注射を打ち、片付けをするまでの細かい作業が困難な場合もあります。インスリン注射が確実にいけるように、パンフレットだけでなく、患者様の心身の状態に合わせた方法で指導を行っています。例えば、パンフレットでは、一連の動作がすべて羅列されているため、一つ一つの動作を確実に行ない、すべての動作を習得するのは難しいことが考えられました。確実にいけるために、一つの動作を1枚のカードにし、患者様がそのカー



●インスリン注射指示カード

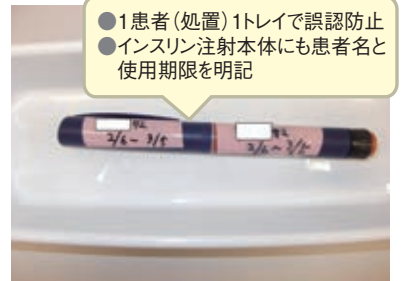
ドを見ながら行えるよう工夫しています。

病状により自己管理のできない患者様には看護師が注射しています。個人持ちのインスリン注射に患者間違いを防止するために氏名と使用期限を記載し、注射時には1患者1トレイにして準備しています。



インスリン注射の収納袋にも患者名を明記しています

医師、看護師、薬剤師、栄養士、様々な職種で患者様の生活を支えています。2月より糖尿病認定看護師も病棟に1名配置となり、さらに充実した指導を行えるようにしていきたいと思っています。



●1患者(処置)1トレイで誤認防止
●インスリン注射本体にも患者名と使用期限を明記

(北3病棟副看護師長 益川 薫)

やまびこ祭り 個展 information 情報コーナー

2月は今年の干支「サル」を包装紙と画用紙で表現しましたが、皆さんご覧いただけましたでしょうか? 「え? あれサルだったの?」という声も聞こえてきましたが、サル以外の何ものでもありませんよ~

さて、3月は「あかりをつけましょ ぼんぼりに~」の音楽が巷で流れる季節!...ということで、ギャラリーも“おひなさま”です。患者さんと一緒に



作ったお内裏さまとお雛さまの顔は、と~っても表情豊かです。着物も斬新なデザインばかりで思わず目を奪われること間違いなし!! 「これ、見たことある包装紙…」と包装紙に目を奪われることなく、純粋に「おひなさま」を楽しんで頂けると嬉しいです(笑)。

今年度も皆さまに見守られ、ギャラリーも楽しく?! 1年を過ぎようかとしています。4月以降も、「やっぱり5病棟!」「毎回楽しみだわ~」と言って頂けるよう、みんなで張り切って取り組んでいきたいと思っています。応援よろしくお祈りします。そして、5病棟(重症心身障がい児(者)病棟)の芸術家たちを見かけましたら、是非お声掛け頂ければ…と思います。

(児童指導員 丸澤 由美子)